

## 廃プラスチック焼却量の算定根拠について

令和3年第2回環境審議会 意見・質問一覧の〈2. 令和3年度版いるましの環境第三次入間市環境基本計画環境報告書についての意見・質問〉No.19にあります、廃プラスチック燃焼量について、以下の方法により算定しています。

(1) 各年度4回、焼却廃棄物の組成調査を実施しており、その調査結果より、各年度のプラスチック類の重量比率を算定します。

表1 組成調査における廃プラスチック類の重量割合(%)

年度	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年間
平成28	17.476	17.753	19.373	21.928	19.147
平成30	32.317	19.298	27.314	16.605	24.645
令和元	37.389	19.387	34.218	17.463	28.058
令和2	20.645	45.814	42.796	47.740	39.30

(2) 年間焼却量と(1)割合から廃プラスチックの焼却量を算出し、これに二酸化炭素排出係数を乗じることにより二酸化炭素排出量を算定します。

計算式：廃プラスチックの焼却によるCO<sub>2</sub>排出量(t)

$$= \text{年間焼却量(t)} \times \text{廃プラスチック割合} \times \text{CO}_2 \text{ 排出係数(t-CO}_2\text{/t)}$$

表2 各年度における廃プラスチック燃焼による二酸化炭素排出量

年度	年間焼却量(t)	廃プラスチック割合(%)	廃プラスチック計算重量(t)	CO <sub>2</sub> 排出係数(t-CO <sub>2</sub> /t)	CO <sub>2</sub> 排出量(t-CO <sub>2</sub> )
平成28	34,456.78	19.147	6597.6	2.765	18,242
平成30	33,895.72	24.645	8353.5	2.77	23,139
令和元	33,549.28	28.058	9413.3		26,075
令和2	33,097.07	39.30	13007		36,029